

古代遺跡に魅せられて～イタリア南部の旅 (2018年)

近畿支部会員 京都市



1月8日から26日まで私たち夫婦はイタリア旅行を楽しみました。

1月9、10日 Roma Ms. Ce. BE

我が家にも来られた Ce さん、ローマの都心のマンションという便利な所に住んでいられます。大きな息子さんがいられるのに娘さんのような感じで、私たちが来ているからと友達を呼んで



下さったり、とても楽しい方でした。観光で印象的だったのはバチカン市国。先ず長蛇の列で有名なバチカン宮殿へ。早く行ったのでさして並ぶ事もなく中に入れ、コレクションを楽しめました。美しく飾られた長い廊下を歩いてラファエロの間へ。

何ととっても圧巻はミケランジェロのシスティーナ礼拝堂でした。壁、天井、部屋一面に描かれた絵を、座って飽かずに眺めました。その後、サンピエトロ大聖堂等を楽しみました。

11, 12日 Napoli Mr. & Ms. Ne. CO



ナポリのホストはスペイン地区に住んでいるご夫妻。何の変哲もない外観の家、でも、一歩中に入るやとても洒落た作り、そして数々の工芸品がいっぱいでびっくりでした。ご主人はすごく工芸が好きで、経済的な理由からケミストとして仕事をして来られましたが、70歳になった今、再び工芸の勉強をしているとの事でした。国際的な数々の展覧会にも作品を出していられます。奥さんは飲み物や料理が趣味で、ただものではないとてもおいしいお食事を作ってくださいました。「いつまでもあきらめない人生、輝く人生」を過ごしてられるお二人から非常に学ぶ事の多い良き訪問でした。

13,14日 Napoli Ms. Be. BO

ホストは英語の先生、ちょうど行った日が日曜日だったので、最もナポリらしい所を案内してあげると言われ、海岸辺りを散歩しました。

ナポリでは市内の美術館等も良かったですが、1番は何ととってもポンペイの遺跡、火山の噴火でうずもれてしまったポンペイの町を一日中歩き回りました。疲れましたが、2000年前に栄えた昔の生活を思い浮かべながら歩き回った感動的な訪問でした。



15～18日 Catania Ms. Ol. ME Day Host Ms. An. VI

Olさんが4泊のホストをして下さいました。この時期彼女は非常に忙しく、一緒に観光する事は出来ませんでした。良いアドバイスをして下さり、バスの発着場までの送り迎えをスムーズにしてくださいました。彼女はとてもお料理が上手で、いろんな野菜をミックスした濃厚な野菜スープや、色んなパス

タや デザートを日替わりで作って下さり、とても素敵な滞在でした。彼女にはダウン症の弟さんがいられて、弟さんが生まれた時、イタリアは障がい者に対するケアや教育が行き届いていなかったため、弟さんはスイスにあるダウン症のための施設にいかれました。今も Olさんはよく彼に会いに行かれて、その時には弟さんだけでなく、他の入所している人たちとも会話をしたいとの事で、施設がドイツ語圏にある事から、ドイツ語を勉強されています。弟さんも彼女の家に来られます。弟さんの話をされる時、少し涙ぐんでいられました。皆の幸せを願うとても優しい方でした。

Catania 市内はディホストの Anさんが案内して下さいました。各所で歴史的な事等も説明して下さい、又、昔の建物で大学に使われている所とか、旅行者にはわからないような素敵な所もたくさん案内してもらえて、やはりディホストは良いなあと思いました。

カタニアからバスで行った古代都市シラクサ、紀元前3世紀に作られたギリシャ劇場がすごく見ごたえがあり、済んだ青空の下、木々に囲まれた自然の中で古代人はどんな文化を楽しんだのだろうと想いを馳せました。

19,20日 Palermo Ms. Ma.VA

Maさんはお母さんのようにいろいろ配慮してくれる優しい人、行き届いた観光説明、出かける時にはバスの切符まで渡して下さい、観光から帰るとオレンジをたくさん絞ってジュースを作して下さいました。お料理は下手だと言いながら、いろいろ心を込めてご当地の料理を手作りしてくれる優しい人で、心休まる滞在でした。1日目は彼女のバースデーパーティーで、彼女の友達と一緒に誕生日を祝う事が出来てとっても良かったです。



21,22日 Palermo Ms. Ma. RA

RAさんは、「イギリスから帰ったばかりなので泊めてあげる事しか出来ないけれども、それで良ければ Welcome」と言ってくれました。とてもお忙しく、鍵を渡して下さい、自由に出入りし、冷蔵庫の中も説明して下さい、朝食も好きなように作りました。1日目の夕食は彼女の手作りでお友達も呼んでの盛り上がりでした。2日目は彼女の友達の所に招待して頂きました。その方の家は御殿のように立派でした。お母さんは美しく、とても92歳というお歳には見えませんでした。お母さんと言葉はあまり通じなかったけれども、心が通じ合える温かい出会いでした。

パレルモの街並みは中途半端でない建物や彫刻が軒を連ね、美術館、博物館等々、すごい所です。中でもパラティーナ礼拝堂はこれでもかと思う程の装飾や金がちりばめられていて、こんなに贅を尽くした所は初めて見ました。パレルモからバスで行くモンレアーレ、ここの大聖堂も豪壮華麗なモザイクで飾られていて、これまた最高に贅を尽くしています。それらを見ながら、芸術的価値はありながら、これを作るためにどれだけの人が苦しい思いをしたか、そんな事に想いがいきました。



世界遺産のアグリジェントにもパレルモからバスで行きました。アグリジェントの神殿の丘、自然いっぱいの青空の下に多くのユニークな神殿の遺跡が残っていて、広い自然の中を歩き回った素敵な訪問でした。

23,24日 Roma Mr. Ma. SC Family

再びローマに帰ってきて、我が家に来られた Ma さん宅に行きました。ご夫婦ともお仕事をお持ちでしたが、空港や観光地への送り迎えも上手くして下さり、皆さんとても暖かく迎えて下さいました。2 日目の夕食は Ma さん(奥さん)のお母さんの所に招待して下さいました。お母さんもサーバスの会員で世界中を旅行されています。植木が好きでベランダには植木鉢が一杯です。又、音楽も好きでピアノの横には譜面台までありました。帰りに車で丘に上がり、ローマの町を見下ろしました。高い建物はありません。聞くと、カソリックの総本山サンピエトロ大聖堂より高い建物は禁止されているとの事でした。そして、大聖堂からは幅広の道がまっすぐに伸びています。短期間に立ち退かせて作ったそうです。Ma さんはカソリックは勢力を持ちすぎていると批判的でした。ローマでの観光のメイン、円形競技場のコロッセオに行きました。インターネットで予約して下さったので、今度も待たなしの入場、紀元 80 年完成当時収容人員 5 万人以上という 4 階建ての巨大な建物で、ここで猛獣と剣闘士の戦いが見世物にされていました。何と残虐な事を楽しんだのかと、恐ろしくなりました。

25 日はいよいよ帰る日、26 日日本着で旅は終了となりました。

今回もただサーバスの会員であるというだけで、皆様にとっても親切にして頂き、良い旅が出来ました。サーバスにとっても感謝です。

